

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
小布施町	小布施地区	令和3年3月26日	

1 対象地区の現状

1 地区内の耕地面積	807 ha
2 アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	561 ha
2 の内後継者未定の農業者の耕作面積の合計	73ha
2 の内後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0 ha
3 地域内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	112 ha
(備考) 水田については、引き受ける意向のある担い手がいる。	

2 対象地区の課題

農地が利用されず遊休農地が増加する懸念がある。
若者の農業者が減少し、高齢化が進んでいる。
青年就農者が、入ってくる必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への集約化に関する方針

中心経営体である認定農業者や新規就農者等が担う。
入作を希望する農業者や認定農業者の受け入れを促進することで対応していく。

4 3を実現するために必要な取り組みに関する方針（任意記載事項）

(農地の貸付け等の意向)
町独自の農地バンクに貸し手や借り手の登録をしていただき、中心経営体への農地集積を図っていく。

(農地中間管理機構の活用方針)
中心経営体が病気等の事情で営農の継続が困難な場合には、農地バンクの機能を活用し、農地の一時保全管理や新たな受け手への付け替えを進めることができるよう、機構を通じて中心経営体への貸付けを進めていく。

(農地保全への取組方針)
中心経営体だけではなく、農業者、土地所有者一体となって農地の保全に取り組む。